

第5回 ICF シンポジウム(案)

生活機能分類の活用に向けて

テーマ案:

「活動・参加」や「環境因子」の視点からみた ICF に焦点を当ててはどうか。

案1)スポーツにおける「活動・参加」の視点から考えた場合

(プログラム例)

- 東京オリンピック・パラリンピックに参加しよう
心身機能や環境の違いを超えて参加を達成するために
- ロンドンオリンピック・パラリンピックレガシーの経験
どのような ICF レガシーを残せるかを考える
- 東京オリンピック・パラリンピックへ向けた取り組み(まちづくり、交通・情報バリアフリー等)
環境整備の視点から環境因子が活動・参加に与える影響を考える
環境因子からみた ICF の活用可能性について考える

など

案2)高齢者の地域活動への「活動・参加」の視点から考えた場合

(プログラム例)

- 高齢者の生きがいや地域における役割を踏まえたリハビリテーションについて考える
- 高齢者のリハビリテーションマネジメントにおける ICF の活用可能性を考える
- 高齢社会におけるコミュニケーションロボットの活用

案3)「環境因子」としての支援機器の視点から考えた場合

(プログラム例)

- 環境因子としての支援機器と活動・参加について
環境因子からみた ICF の活用可能性について考える
- 支援機器の活用事例(肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、認知機能障害)
当事者からの発表
- ICF と ISO9999 の関係について
※ISO9999(障害者のためのテクニカルエイドの分類)は、世界保健機関国際統計分類ファミリーの関連分類の1つである

など

ICFの概念図（具体例が入ったもの）

